報道機関　各位

記者発表資料
令和４年３月２日（水）
問い合わせ先：市立博物館
館長：髙力
担当：矢野、瀧本
電話：６４４－２３２２

第３４回企画展 自然塗料「赤山渋」～かつての郷土特産物～ を開催します
～さいたま市誕生２０周年記念関連事業～

さいたま市立博物館では、第３４回企画展を開催します。現在のさいたま市東部から川口市北部にかけての大宮台地を中心とした地域では、江戸時代後期から昭和戦後にかけて「赤山渋」と呼ばれる柿渋が盛んに作られました。柿渋は、建物や漆器の下地に塗ったり、布や紙製品を染めたり、酒や醤油をろ過したりと、様々な用途で使われ、人びとの生活に無くてはならないものでした。本展示では、かつて郷土の特産品として名を馳せた「赤山渋」について紹介します。ぜひご来館ください。

１　期間等

（１）　展示期間：令和４年３月５日（土）～５月８日（日）
（２）　開館時間：９時～１６時３０分
（３）　会　　場：さいたま市立博物館 特別展示室（大宮区高鼻町２－１－２）
（４）　入 館 料：無料
（５）　休 館 日：月曜日（３月２１日は開館）、３月２２日（火）

２　展示構成

序　章　　柿と日本人
第１章　　柿渋のあゆみ
第２章　　柿渋をつくる
第３章　　柿渋をつかう
第４章　　「赤山渋」～かつての郷土特産物～

３　関連イベント

（１）　講座（会場：さいたま市立博物館 講座室）
① 体験講座「柿渋でＴシャツを染める」
日時：令和４年３月１９日（土）９時３０分～１２時
講師：山﨑 利江 氏（楽布の会　主宰）
定員：２０名
費用：２００円
申込：３月３日（木）９時から、電話で、さいたま市立博物館へ

② 講座「赤山渋の再現プロジェクト」

日時：令和４年３月２０日（日）１３時３０分～１５時
講師：井上 二三世 氏（新井宿駅と地域まちづくり協議会　会員）
定員：３０名
費用：無料
申込：３月８日（火）９時から、電話で、さいたま市立博物館へ

③ 講座「赤山渋の生産と流通」

日時：令和４年３月２７日（日）１３時３０分～１５時３０分
講師：松岡 聖子 氏（埼玉民俗の会　会員）
定員：３０名
費用：無料
申込：３月１０日（木）９時から、電話で、さいたま市立博物館へ

（2） 学芸員による展示解説

日時：３月　５日（土）　　１１時～・１４時～
　　４月１７日（日）　　１１時～・１４時～
　　５月　３日（火・祝）１１時～・１４時～
所要時間：各３０分程度
費用：無料
申込：不要（直接会場へお越しください）

４　その他

新型コロナウイルス感染症対策を行っております。なお、新型コロナウイルス感染症の状況により、展示期間、講座等が変更となる場合があります。